

(様式第3号)

平成30年10月3日

石巻市議会議長 木村 忠良 殿

会派名 日本共産党石巻市議団

代表者名 団長 水澤 富士江

調査報告書

調査した概要は次のとおりであります。

記

- 1 調査者氏名 水澤 富士江、齋藤 澄子
- 2 調査期間 平成30年 7月18日から
平成30年 7月20日まで 3日間
- 3 調査地 (1) 大阪府池田市
及び調査内容 ・子ども・子育て支援施策について（子育て支援課分）
(2) 兵庫県相生市
・『11の鍵』各事業の概要について
- 4 調査目的
(1) 大阪府池田市

●子ども・子育て支援施策について（子育て支援課分）

人口減少や急速な少子高齢化による家族形態の変化、就労の多様化、地域コミュニティ意識の希薄化など、子どもや子育て家庭を取り巻く環境が大きく変化する中で子育てに不安や孤立感を感じる家庭は少なくなく、また保育ニーズの多様化も進んでいる。

このような中、国が平成24年度に「子ども・子育て関連3法」を制定するのに先駆けて、子ども・子育て新システムに掲げられた大きな枠組みに沿って、これからの池田市の施策を進めるために、平成23年10月に「池田市子ども条例」を改正し、池田市子ども・子育て会議を設置している。

池田市は、これまでの次世代育成支援行動計画での取り組みの評価を踏まえ、池田市子ども・子育て支援事業計画と次世代育成支援行動計画を一体的に策定す

ることにより、子育て支援施策が市民にとって十分満足したものとなるよう、池田市独自の事業を加えつつ、実効性のある計画に向けて推進している。

本市においても、子ども・子育て支援施策は重要課題であることから、池田市の取り組みについて学び、本市における今後の事業推進の参考とする。

(2) 兵庫県相生市

●『11の鍵』各事業の概要について

相生市では人口減少が続き、年齢構成も大きく変化しており、1975年から2014年の約40年間で総人口が約11,500人減少し、65歳以上の高齢者割合も34.6%と26.5ポイント上昇している。

相生市の人口は2010年で31,154人であるが、国立社会保障・人口問題研究所及び日本創生会議の推計では、2040年前後には20,000人を割り込むと予測されている。

そのような状況に危機感を持ち、国よりも先に平成23年度に「子育て応援都市宣言」を行い、「人口減少対策」「教育・子育て・少子化対策」「産業の活性化対策」を最重要課題と位置づけて、相生市活力上昇計画（第2期行財政健全化計画）を策定し、「11の鍵」という定住・子育て施策を中心に、住んでもらうまちを目指して選択と集中により戦略的に取り組んでいる。

本市においても、定住・子育て施策は東日本大震災からの発展期において、最重要課題であることから、相生市の取り組みについて学び、本市の今後の事業推進の参考とする。

5 調査概要

(1) 大阪府池田市

◇子育てするなら池田市で「子ども・子育て支援日本一のまちをめざします！」について、子育て支援課より説明を頂く。

池田市では、少子高齢化に伴う人口減少社会を見据え、次世代育成施策の在り方を示すため、全国先駆けて平成17年3月に「池田市子ども条例」を設定しました。

◇子ども・子育て支援日本一に向けた取り組み

- ①結婚の希望を叶える環境整備として、独身男女に出会いの場を提供する支援
- ②お産プロジェクト市立池田病院では、平成29年10月1日より出産費用見直し、市民の方は、出産育児金42万円支給が可能となり、同時に出産病棟リニューアルし分娩予約相談窓口を設置しています。
- ③親子の絆づくりプログラム、初めて子育てをするお母さんと生後2～5カ月の赤ちゃんが集まって、育児の喜び、困りごと、親としての迷いなどを話しながら子育てに必要な知識を学ぶ参加型プログラムを実施しています。

④親子遊びに行ける場所、親子のふれあい、地域子育て支援拠点として小さなお子さんと保護者の方が安心して自由に過ごせる室内広場を市内4カ所開設しており、おもちゃや絵本が沢山あり、子育て講習会を実施しているほか、子育ての相談にも応じています。

◇各種支援・エンゼル制度

- ①ふくまる子ども券、保育所に通っていない満1歳の誕生日から満3歳到達時の年度末までのお子様を対象に、一時預かり施設利用補助券1万円分をプレゼントして、買い物や通院のほか、育児から離れることでリフレッシュしたい時などに利用できる。
- ②エンゼル祝品、株式会社池田泉州銀行との連携のより、出産祝品(第1子・第3子の誕生時には1万円、第3子以上の誕生時には5万円が入金された積立式定期貯金通帳)を贈呈します。
- ③エンゼル車貸与、ダイハツ工業株式会社の全面協力により、第3子以上が生まれた方で希望者を対象にダイハツ車を3年間無償貸与します。

◇成長・発達について

いけだつながりシート Ikeda_s(イケダス)母子手帳の延長版として使える成長・発達の記録ファイルです。内容は下記の二部構成となっており、無料で配布しています。子どもの特徴や普段の様子、情報を記録し、子どもに関わる人たちと共有することにより、家庭と支援者が一緒に子どもを支えることができます。

- ・フェイスシート…受信医療機関などの基本情報を記録できます。
- ・現在の様子…運動や学習、就労準備など、成長・発達による変化を記録できます。

◇子育てに関する情報と問い合わせ先が一目で分かる、平成30年度「いちご応援団」池田市の特典

●ふくまる子ども券

保育所に通っていないH27年4月2日生まれ～満1歳になるお子さまいる家庭対象に一時預かり施設利用補助券をプレゼント

●親子ふれあいDAY

毎週土曜日、市内のお風呂屋さん親子で行く割引があります。

●エンゼルお祝品

第1子以上の新生児を出産された場合に贈呈

●保育所等児童エンゼル補助金

保育所等に通う第3子以上の児童を対象に補助金を支給

●幼稚園等児童エンゼル補助金

市立及び私立幼稚園等に通園する第子以上の児童を対象に補助金を支援

●赤ちゃんステーション

市内の市立保育所、公共施設等でオムツ替えや授乳ができます

●アイ・いあいブック

4か月健診時に絵本の読み聞かせと子育て支援情報をお伝えします

●ベビープログラム(BP)

初めての子育てをするママのための参加型プログラム(全4回)

●いちご通信・いちごパーティー

満1歳の誕生月に誕生会の招待状を対象児童全員に郵送します。あたたかい雰囲気と出会いがあります

(2)兵庫県相生市

・「子育て応援都市宣言」定住・子育て支援事業について一企画総務部定住促進室の方より説明を頂く。

①子育て応援都市宣言に至るまで

国の三位一体改革の影響により、平成17年3月に「相生市財政SOS宣言」を行い、「第1期相生市行財政健全化計画」策定。(平成18~22年度)目標達成、その効果額は27億6千万円。

②その中で、将来の人口減少が最重要課題として浮き上がる

相生市の最高人口は、昭和49年の42,188人で、その後、減少を続けている。

③特に、年少人口(15歳未満)が県下でも最下位

相生市の年少人口の減少率はマイナス62%

④この問題を解決するために、相生市の活力向上をめざす

「第2期行財政健全化計画(平成23年~27年度)をスタート」選択と集中による投資—①人口減少対策②教育・子育て・少子化対策③産業の活性化—積極的なPRを展開

⑤相生市の目指す方向として、自主的・自立的な地域経営をめざす。その姿勢をしめすため「子育て応援都市宣言を行い、子育て世代をターゲットに定住促進を図る」こととした。

⑥11の定住促進関連事業を「11の鍵」として、市内外へのPRを展開している。

- ①新婚世帯家賃補助金交付事業（定住促進室）
- ②定住者住宅取得奨励金（定住促進室）
- ③マタニティタクシークーポン交付（子育て元気課）
- ④出産祝金支給（子育て元気課）
- ⑤こども医療費助成（市民課）
- ⑥子育て応援券交付（子育て元気課）
- ⑦保育料軽減事業（子育て元気課・教育管理課）
- ⑧市立幼稚園預かり保育事業（教育）管理課
- ⑨給食費無料化（学校教育課）
- ⑩相生っ子学び塾事業（生涯学習課）
- ⑪ワンピース・イングリッシュ事業（学校教育課・生涯学習課）

以上、各種定住施策開始における市民等への理解を得るために、コスモトーク（市民対話集会）を通じ説明。

賛成、反対の声があったが実施後は賛成が増えている。

⑦今後の課題と対応

最大の目標・・・定住者をふやすこと

○平成28年度より、動画や他媒体を活用したプロモーション活動の本格実施により、「相生市」そのものの認知度を上げる

○今後もPRと分析の継続が必要である

◎地域創生総合戦略である「相生市もっと活力上昇計画」を軸とし、ターゲットを明確にした、事業を展開する。

6 所感及び石巻市への政策提言等について

(1) 大阪府池田市

子ども・子育て支援日本一のまちをめざしている市として、生まれてからではなく生まれる前から子育て支援に取り組んでいると思いました。エンゼル祝い、エンゼル車は大手企業のバックアップがあるからこそ出来る支援ではないでしょうか。石巻では難しく思います。

ふくまる子ども券は、育児を離れることでリフレッシュ出来たり、買い物などで、なかなか預ける人も居ない方も多いと思うのでとてもお母さんにとっては嬉しい券です。子育てする中で、石巻でも実現して欲しい制度です。

また、近年、発達障害の子どもが増えている中で、いけどつながりシートのような物があるといろいろな病院や施設などで毎回伝えなければならない事を、シートを提出するだけで大事なことなどが伝わるというのはとても安心できるとおもいました。池田市は大阪大学と研究して国の補助金などを使っている事業という事です。

(2) 兵庫県相生市

給食費の幼稚園・小学校・中学校の全面無料化は市長のトップダウンによる施策とのことだが、地産地消にもつながり、保護者にとっても喜ばれ「続けて欲しい」との声も強いとのこと。ぜひ、石巻市でも実現をして、「子育て応援のまち」とのPRを大に行って、定住者を増やしたい。

また、これらの施策を行うことにより「社会保障・人口問題研究所による将来人口推計」にも変化がおこるとの資料グラフを頂いた。石巻市でも、人口減少が抑制される施策と、それを行った場合の比較グラフの作成をして頂きたい。そのうえで、子育て支援策を強く進めて欲しいと思います。

7 調査経費 154,234 円

8 添付書類 別添資料のとおり

お問い合わせ

石巻市議会事務局 議事グループ
〒986-8501 宮城県石巻市穀町14番1号
Tel : 0225-95-5080 (議会直通)
Fax : 0225-96-2274
Mail : assesc@city.ishinomaki.lg.jp